

2 からだの反応

交通事故で家族を亡くした子どもにみられやすいからだの反応としては、主に以下のようなものがあります。なお、このような反応は、交通事故で家族を亡くした子どもにとっては自然なものであり、特別な反応ではありません。

- ① 眠れなくなる
- ② 気力や意欲、物事への関心が無くなる
- ③ 強い疲労感
- ④ その他のからだの反応

1 眠れなくなる

- 眠れなくなる理由についてはさまざまですが、眠れなくなるということは、多くの子どもに起こることです。
- 例えば「眠る前に事故のことを思い出してしまい、眠れなくなる」「眠ると事故の夢を見るので眠りたくない」「寝ようと思っても亡くなった家族のことを思い出して涙が止まらず眠れない」「夢に亡くなった家族が出てくるため起きてしまう」「親のすすり泣きが辛くて眠れない」といったことがあります。



2 気力や意欲、物事への関心が無くなる

- 交通事故で子どもが失うものは、亡くなった家族だけではありません。遺された家族（特に親）の様子が事故前とは全く変わってしまい、さらにこれまでの安心した生活や社会に対する信頼、将来への希望など、多くのものを失ってし

まいます。そのため、何もやる気がしない状態になったり、意欲や関心が無くなったりすることがあります。

- 周囲との人間関係にもいろいろと気を遣うため、人との関わりの煩わしさを避けるようになり、子どもによっては学校に行けないことや引きこもりになること、ゲーム等の現実逃避にのめりこむこともあります。

3 強い疲労感

- 事故後の生活はストレスが多く疲労を感じやすくなりますが、疲労を回復させるような積極的な活動も、減る傾向にあります。また、何もしていないのにすぐに疲れてしまう状態について、周囲からは「怠けている」と思われ、理解されないこともあります。

4 その他のからだの反応

- その他のからだの反応には、いろいろなものがあります。体の病気が隠れていることもあるので、くり返し起こったり、数週間も続く場合には内科や心療内科に相談することをすすめます。

その他のからだの反応

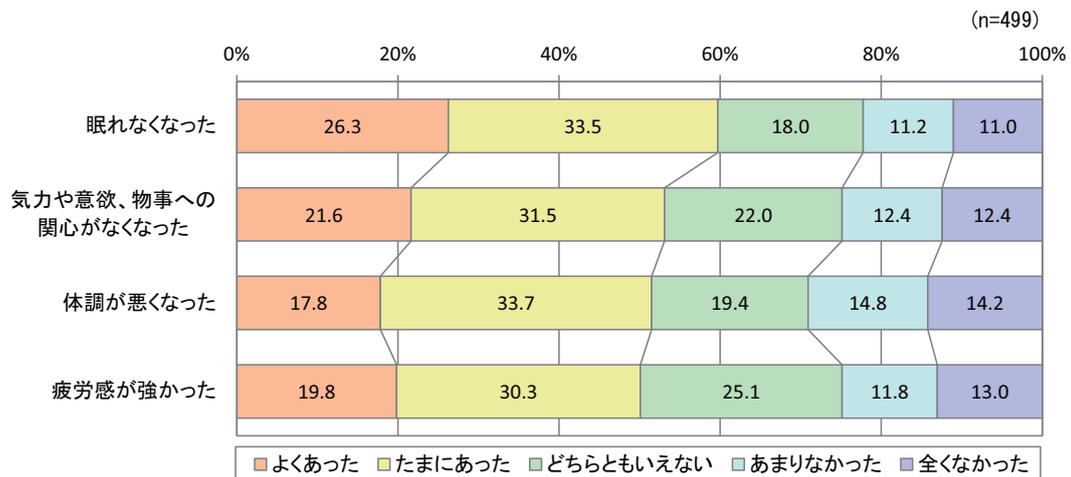
- 息をすることが辛くなることや過呼吸になること
- 事故を思い出すなどして、突然パニックに襲われること
- 食欲がなくなったり、嘔吐を繰り返したりすること
- 涙が突然出てくる、また涙が止まらないこと
- 車に乗れなくなる、また車に乗ると具合が悪くなること
- 幼い子の場合、赤ちゃんがえり
(おねしょ、指しゃぶり、大人から離れないことなど)



アンケート結果グラフ

グラフは、「事故後の身体面での困難さ」についての回答結果です。いずれもアンケート調査では過半数が「あった（よくあった、たまにあった）」と回答しており、比較的起こりやすい反応と考えられます。

図2 事故後の身体面での困難さ



平成 23 年度内閣府交通事故被害者サポート事業報告書 WEB 調査結果より